決算ハイライト

2026年9月期決算について

感動を、シェアしたい。
大分銀行

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

目次

1．2026年9月期決算の概要	P. 1
2．2026年9月期　単体損益の状況	P. 2
3．資金利益の状況	P. 3
4．与信費用・不良債権の状況	P. 4
5．貸出金の状況	P. 5
6．預金等の状況	P. 6
7．有価証券の状況	P. 7
8．2027年3月期　業績予想	P. 8

（注）　本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

感動を、シェアしたい。
大分銀行

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

1 2026年9月期決算の概要

（注）本資料の増減額(率)につきましては、本資料上の開示単位にて算出しております。

感動を、シェアしたい。 大分銀行

1．2026年9月期連結経営成績

	2026年9月期	2025年9月期	増減
連結経常収益	54,812	44,601	10,211
連結経常利益	8,878	6,640	2,238
親会社株主に帰属する中間純利益	① 7,092	4,431	2,661

2026年8月7日公表対比

（単位：百万円）

公表予想	予想比	
50,700	8.1%	4,112
8,500	4.4%	378
5,900	20.2%	1,192

(参考)2027年３月期連結業績予想

（単位：百万円）

	2027年3月期	2026年3月期	増減
連結経常収益	111,400	99,429	11,971
連結経常利益	19,300	14,710	4,590
親会社株主に帰属する当期純利益	③ 14,000	10,595	3,405

2．2026年9月期経営成績

	2026年9月期	2025年9月期	増減
経常収益	56,745	38,309	18,436
(コア業務純益)	24,217	10,550	13,667
(除く投信解約損益)	21,080	8,333	12,747
経常利益	16,594	6,007	10,587
中間純利益	① 15,048	4,033	11,015

2026年8月7日公表対比

（単位：百万円）

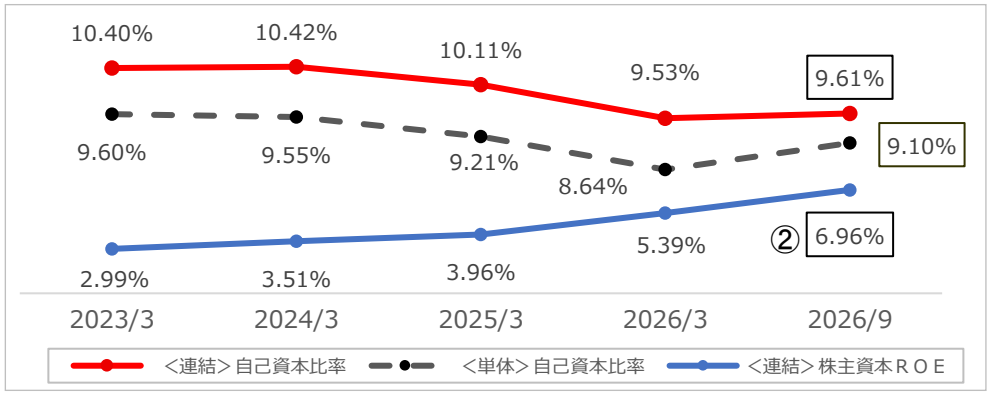
公表予想	予想比	
52,400	8.3%	4,345
19,900	21.7%	4,317
19,300	9.2%	1,780
16,300	1.8%	294
13,900	8.3%	1,148

(参考)2027年３月期業績予想

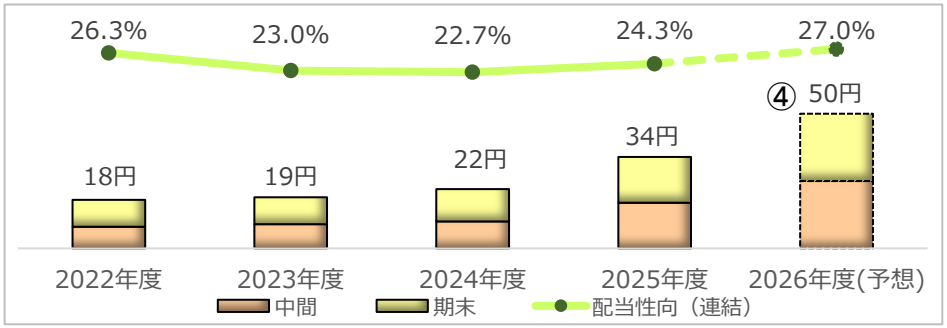
（単位：百万円）

	2027年3月期	2026年3月期	増減
経常収益	106,500	86,610	19,890
(コア業務純益)	38,600	26,931	11,669
(除く投信解約損益)	33,700	20,153	13,547
経常利益	26,200	13,308	12,892
当期純利益	21,500	9,676	11,824

3．自己資本比率と株主資本ＲＯＥの推移



4．配当の状況



（注）2026年４月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。なお、2022年度から2025年度の配当額は分割考慮後の配当額で記載しております。

①連結・単体とも３期連続の増収増益決算。連結の中間純利益は60.0%増加の70億円。
②連結ROEは6.96%と、中計目標（5.0%超）を上回る水準で推移。
③2027年３月期業績予想は、連結140億円と過去最高益を更新見込み。
④配当は、年間50円（中間25円）を予定。自己株式を取得（上限価額15億円）予定であり、総還元性向は37.8%となる見通し。

2 2026年9月期　単体損益の状況

感動を、シェアしたい。 大分銀行

(注) [　]内には、子会社からの配当金84億円を除いた数値を記載しております。

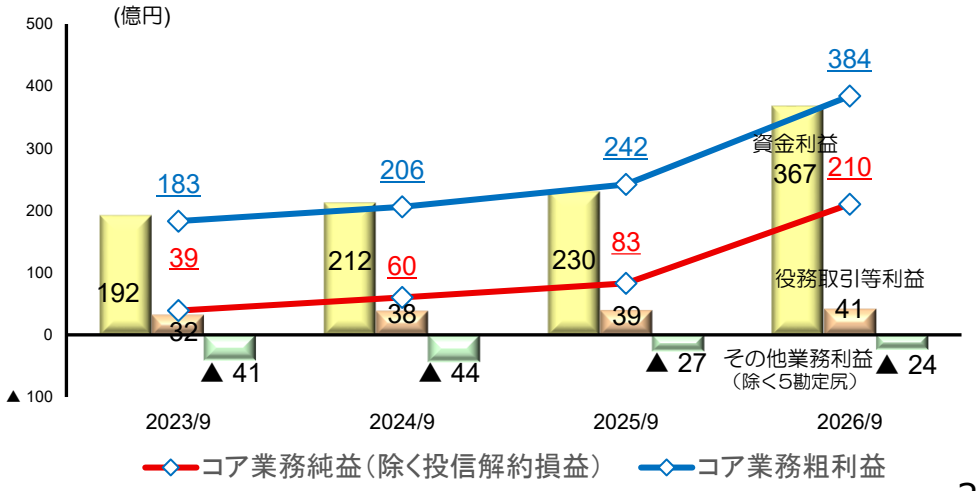
(単位：百万円)

	2026年9月期	2025年9月期比	増減率	2025年9月期
経常収益 ①	56,745 [48,338]	18,436 [10,029]	48.1% [26.2%]	38,309
コア業務粗利益（③+④+⑤） ②	38,441 [30,034]	14,189 [5,782]	58.5% [23.8%]	24,252
資金利益 ③	36,764 [28,358]	13,684 [5,278]		23,080
役務取引等利益 ④	4,168	225		3,943
その他業務利益（除く5勘定尻） ⑤	▲ 2,491	280		▲ 2,771
経　費（除く臨時費用処理分） ⑥	14,223	522		13,701
コア業務純益（②－⑥） ⑦	24,217 [15,811]	13,667 [5,261]	129.5% [49.9%]	10,550
除く投資信託解約損益	21,080 [12,673]	12,747 [4,340]	153.0% [52.1%]	8,333
与信費用 ⑧	▲ 1,936	▲ 2,713		777
一般貸倒引当金繰入額	－	▲ 31		31
個別貸倒引当金純繰入額	－	▲ 745		745
その他	▲ 1,936	▲ 1,936		0
有価証券関係損益 ⑨	▲ 10,385	▲ 6,367		▲ 4,018
国債等債券損益（5勘定尻）	▲ 13,887	▲ 6,968		▲ 6,919
株式等損益（3勘定尻）	3,501	600		2,901
その他臨時損益 ⑩	830	576		254
経常利益（⑦－⑧+⑨+⑩） ⑪	16,594 [8,188]	10,587 [2,181]	176.2% [36.3%]	6,007
特別損益	69	152		▲ 83
税引前中間純利益	16,664 [8,257]	10,741 [2,334]		5,923
法人税等合計	1,615	▲ 274		1,889
中間純利益 ⑫	15,048 [6,641]	11,015 [2,608]	273.1% [64.7%]	4,033
OHR（コア業務粗利益ベース）	37.00 [47.35]	▲ 19.49 [▲ 9.14]		56.49

【主な増減要因等】

③資金利益 （前年同期比＋13,684百万円）	有価証券利息配当金や貸出金利息等が大幅に増加。
④役務取引等利益 （前年同期比＋225百万円）	仲介資産残高の積み上げによる証券仲介業手数料等が増加。
⑥経　費 （前年同期比＋522百万円）	賃上げや戦略的なIT投資により増加。 OHRはコア業務粗利益の増加により19.49ポイント改善。 （除く子会社配当ベース：9.14ポイント改善）
⑧与信費用 （前年同期比▲2,713百万円）	引当対象与信が減少。
⑨有価証券関係損益 （前年同期比▲6,367百万円）	将来収益の観点でポートフォリオのリバランスを積極的に実施したことから減少。
⑫中間純利益 （前年同期比＋11,015百万円）	コア業務純益の増加により前期比273.1%の増益。 （除く子会社配当ベース：64.7%増益）

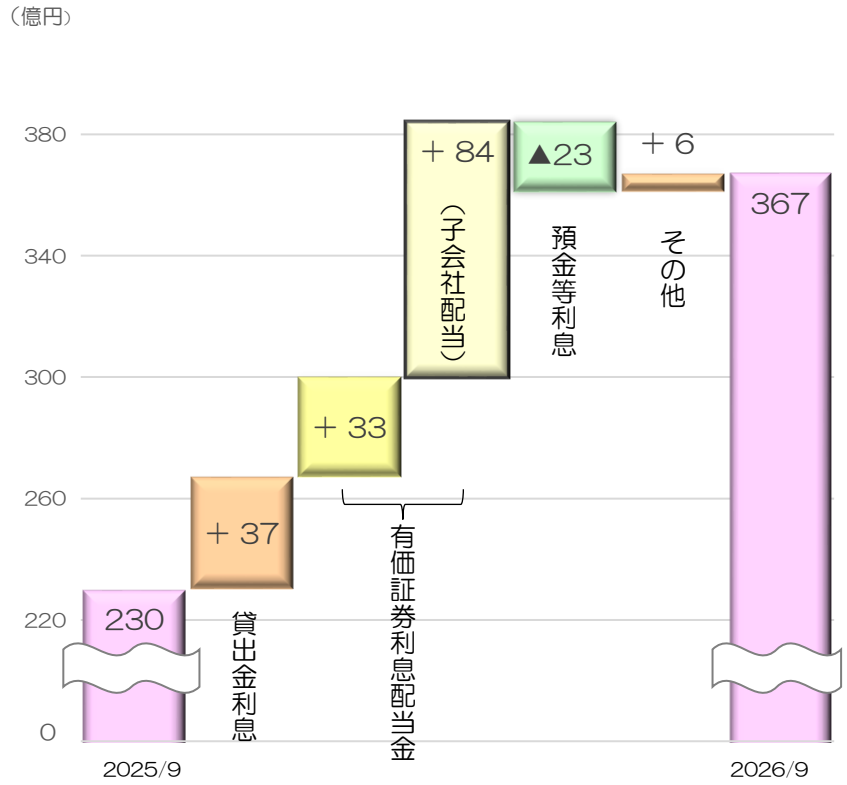
コア業務粗利益等の推移



© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

3 資金利益の状況

資金利益の増減要因



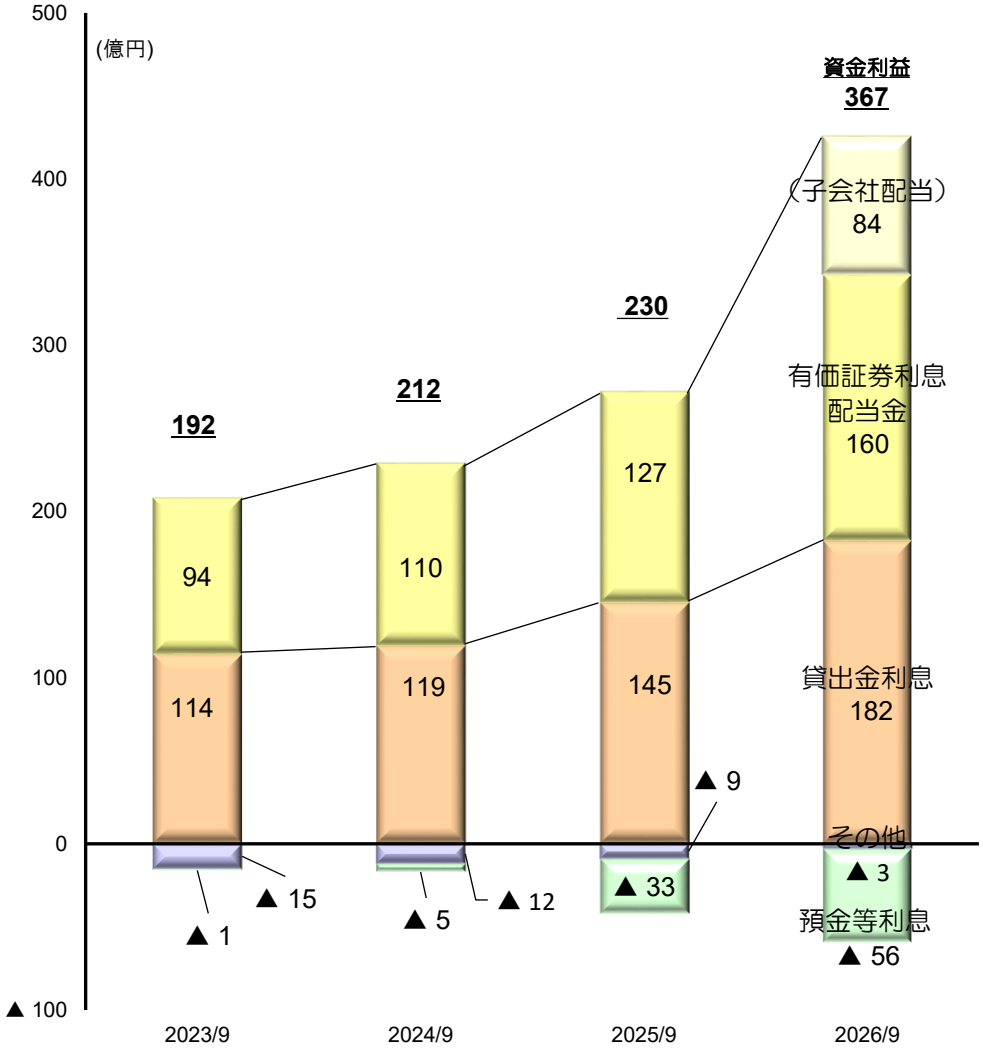
【貸出金利息と有価証券利息配当金の増減分析】　（単位：百万円）

	増減額		
		平残要因	利回要因
貸出金利息	3,675	1,158	2,517
有価証券利息配当金	11,722	▲ 1,335	13,057

【有価証券利息配当金の内訳】　（単位：百万円）

	2026年9月期	増減	2025年9月期
有価証券利息配当金	24,443	11,722	12,721
うち投信解約損益	3,137	921	2,216

資金利益の内訳推移



© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

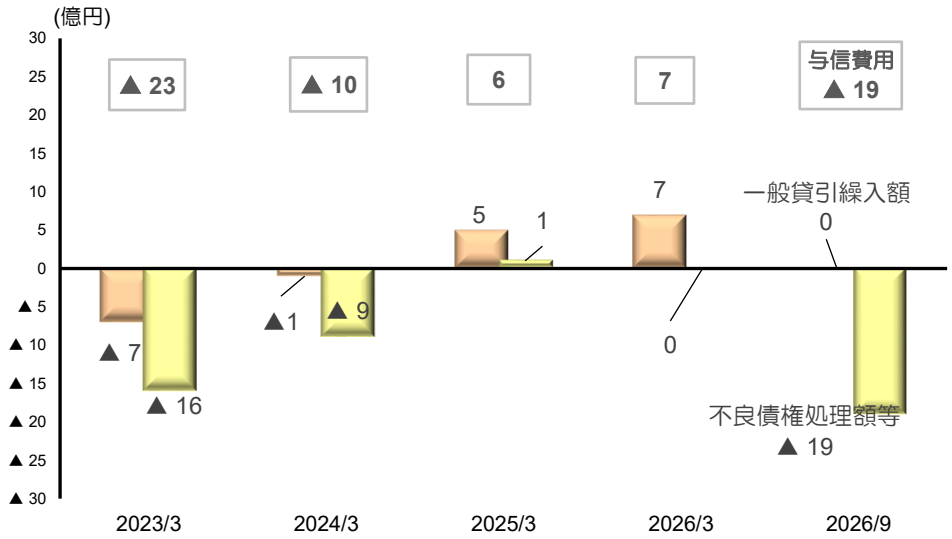
4 与信費用・不良債権の状況

与信費用

（単位：百万円）

	2026年9月期	2025年9月期	増　減
与信費用	①　▲ 1,936	777	▲ 2,713
一般貸倒引当金繰入額	—	31	▲ 31
不良債権処理額	▲ 37	746	▲ 783
貸出金償却	—	—	—
個別貸倒引当金純繰入額	—	745	▲ 745
延滞債権等売却損	—	—	—
その他	▲ 37	0	▲ 37
貸倒引当金戻入益	1,898	—	1,898
償却債権取立益	—	—	—

(注)与信費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益

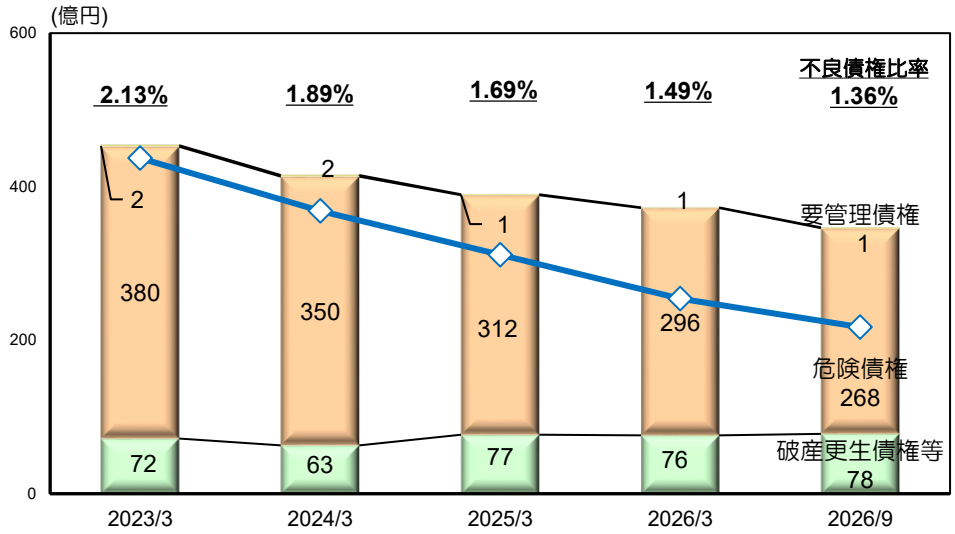


①個別貸倒引当金が引当対象与信の減少により取崩となったことから、
▲19億36百万円となりました。

金融再生法開示債権

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末	増　減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	7,791	7,629	162
危険債権	26,876	29,579	▲ 2,703
要管理債権	62	111	▲ 49
小　計	34,730	37,319	②　▲ 2,589
正常債権	2,504,561	2,466,680	37,881
合　計	2,539,292	2,504,000	35,292
不良債権比率（%）	1.36	1.49	③　▲ 0.13



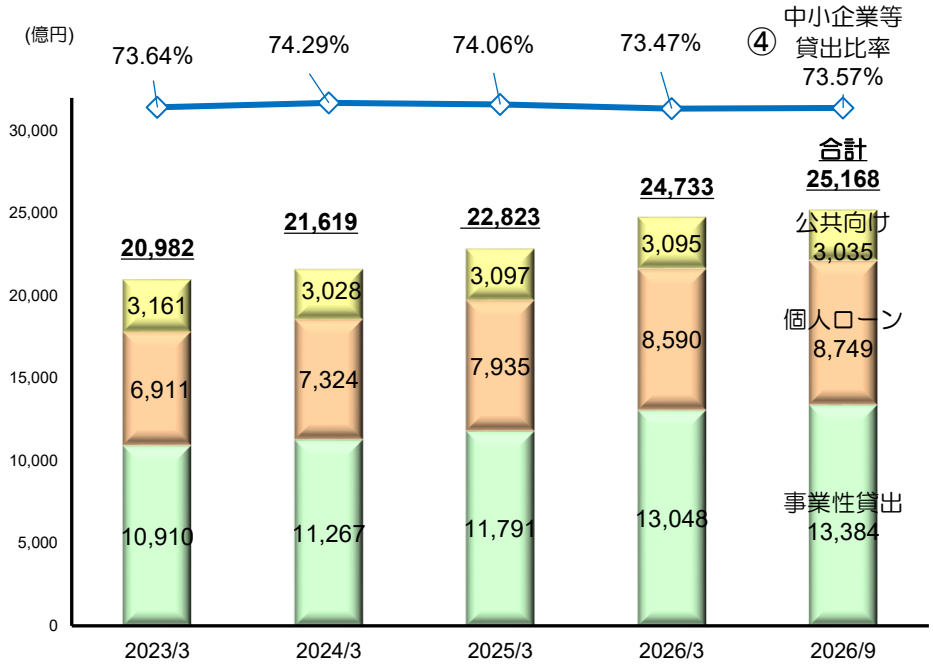
②金融再生法開示債権残高は、前期末比で25億89百万円減少。
③不良債権比率は、前期末比0.13%低下。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

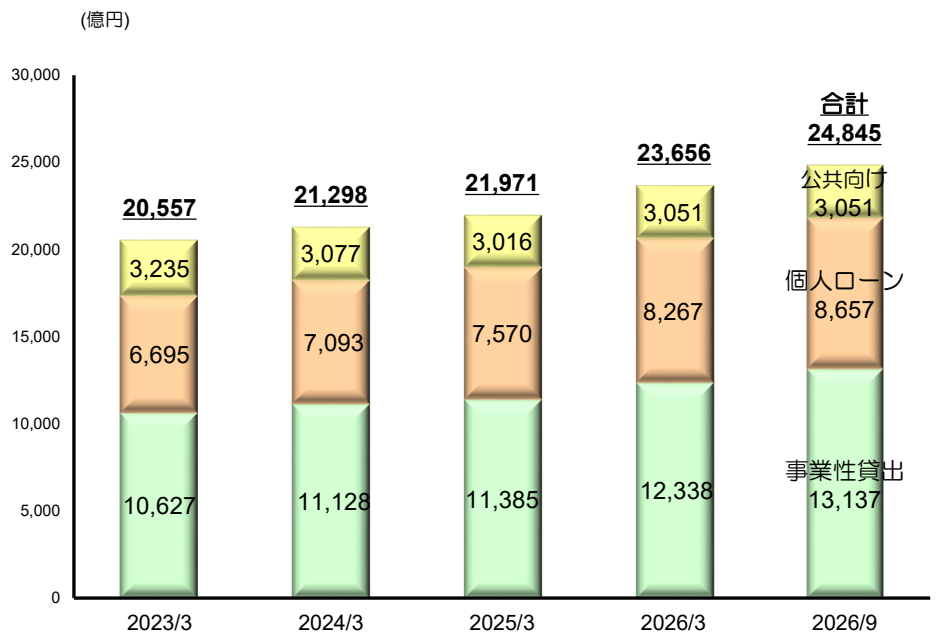
5 貸出金の状況

感動を、シェアしたい。 大分銀行

貸出金末残推移



貸出金平残推移



（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比 増減率	2026年3月末比 増減額	2025年9月末比 増減率	2025年9月末比 増減額	2026年3月末	2025年9月末
総貸出金	① 25,168	1.7%	435	6.2%	1,471	24,733	23,697
事業性貸出金	② 13,384	2.5%	336	8.4%	1,045	13,048	12,339
県内	7,864	2.0%	155	6.2%	465	7,709	7,399
県外	5,520	3.3%	181	11.7%	580	5,339	4,940
個人ローン	③ 8,749	1.8%	159	5.2%	436	8,590	8,313
公共向け	3,035	▲ 1.9%	▲ 60	▲ 0.3%	▲ 10	3,095	3,045

（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比 増減率	2026年3月末比 増減額	2025年9月末比 増減率	2025年9月末比 増減額	2026年3月末	2025年9月末
総貸出金	24,845	5.0%	1,189	7.5%	1,748	23,656	23,097
事業性貸出金	13,137	6.4%	799	9.9%	1,187	12,338	11,950
県内	7,746	3.5%	267	5.2%	386	7,479	7,360
県外	5,391	10.9%	532	17.4%	801	4,859	4,590
個人ローン	8,657	4.7%	390	7.0%	569	8,267	8,088
公共向け	3,051	0.0%	0	▲ 0.2%	▲ 8	3,051	3,059

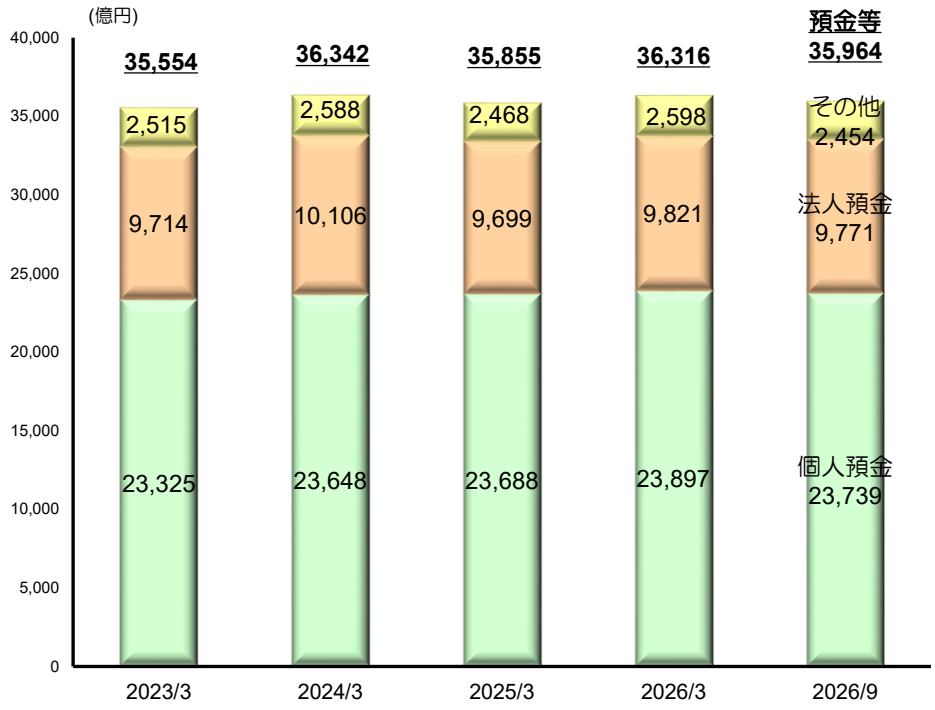
①総貸出金（末残）は、事業性貸出金及び個人ローンの増加により前期末比435億円増加し、2兆5,168億円（増加率1.7%）。
②事業性貸出金（末残）は、ストラクチャード・ファイナンスへの取り組み強化に加え、東京・大阪地区での貸出金の積上げ等により、
前期末比336億円増加し1兆3,384億円 （増加率2.5%）。
③個人ローン（末残）は、住宅ローンの推進により前期末比159億円増加し、8,749億円（増加率1.8%）。
④中小企業等貸出比率（末残）は、前期末比0.10%上昇し73.57%。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

6 預金等の状況

感動を、シェアしたい。 大分銀行

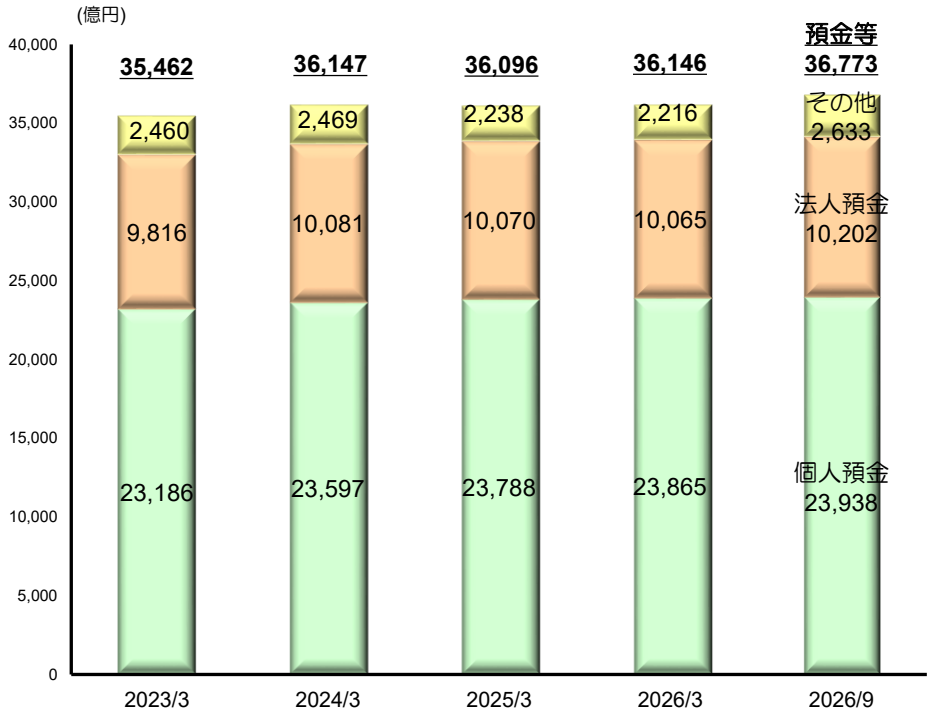
預金等末残推移



（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比		2025年9月末比		2026年3月末	2025年9月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
預金等	① 35,964	▲ 0.9%	▲ 352	0.8%	298	36,316	35,666
個人預金	23,739	▲ 0.6%	▲ 158	0.1%	43	23,897	23,696
法人預金	9,771	▲ 0.5%	▲ 50	▲ 0.2%	▲ 29	9,821	9,800
その他	2,454	▲ 5.5%	▲ 144	13.0%	284	2,598	2,170

預金等平残推移



（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比		2025年9月末比		2026年3月末	2025年9月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
預金等	② 36,773	1.7%	627	0.8%	324	36,146	36,449
個人預金	23,938	0.3%	73	0.4%	111	23,865	23,827
法人預金	10,202	1.3%	137	0.6%	63	10,065	10,139
その他	2,633	18.8%	417	6.0%	150	2,216	2,483

①預金等（末残）は、前年同期比では増加（＋298億円、増減率0.8%）したものの、株価上昇等の相場要因や野村證券アライアンス効果による投資へのシフトが堅調に推移したことから前期末比で減少（▲352億円、増減率▲0.9%）し、3兆5,964億円。

②預金等（平残）は、継続的なキャンペーン実施やメイン化推進等により増加し、3兆6,773億円（前期末比＋627億円、増減率1.7%）

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

7 有価証券の状況

有価証券末残

（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2025年9月末比	2026年3月末	2025年9月末
有価証券	12,097	① ▲ 827	▲ 1,557	12,924	13,654
国債	3,044	963	907	2,081	2,137
地方債	1,505	▲ 854	▲ 1,372	2,359	2,877
社債	1,760	▲ 82	▲ 302	1,842	2,062
株式	1,710	156	384	1,554	1,326
その他	4,078	▲ 1,010	▲ 1,174	5,088	5,252
外国証券	2,300	▲ 628	▲ 640	2,928	2,940
投資信託等	1,778	▲ 382	▲ 534	2,160	2,312

①有価証券は、バランスシートの最適化を進めており、アセットアロケーションを意識したリバランスの実施により、前期末対比で827億円減少。

有価証券の評価損益

（単位：億円）

	2026年9月末			2026年3月末			増減
	評価損益 (A)	評価益	評価損	評価損益 (B)	評価益	評価損	評価損益 (A)-(B)
有価証券	346	1,113	766	304	919	615	② 42
株式	971	976	4	825	831	5	146
債券	▲ 549	0	549	▲ 505	0	505	▲ 44
その他	▲ 76	137	213	▲ 16	87	103	▲ 60
外国証券	▲ 142	1	143	▲ 33	8	41	▲ 109
投資信託等	66	136	69	17	79	61	49

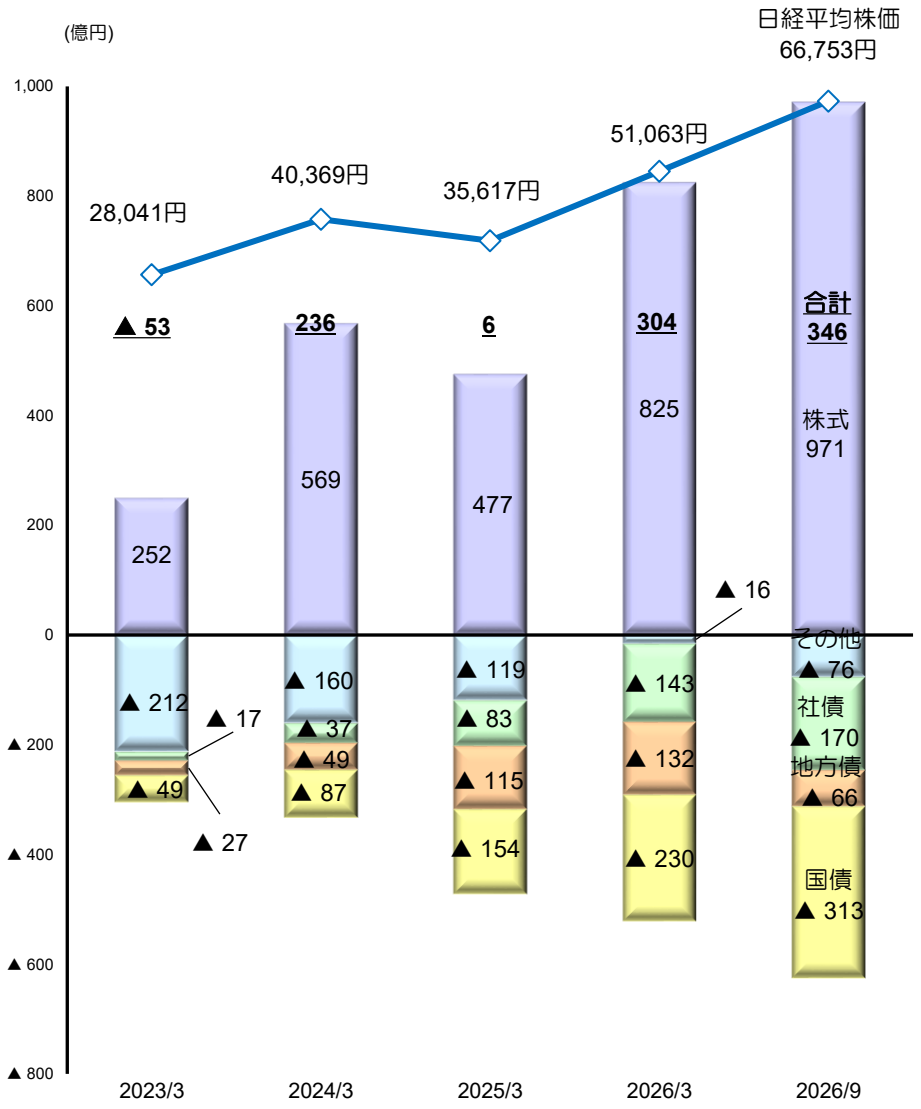
【ご参考】

有価証券(ヘッジ考慮後)	533	1,300	766	389	1,005	615	② 144

※債券及び外国証券については、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っております。

②株式の評価損益が堅調に推移したことから、有価証券の評価損益全体では前期末対比42億円増加。(ヘッジ考慮後の評価損益は前期末対比144億円増加)

有価証券評価損益の推移



© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

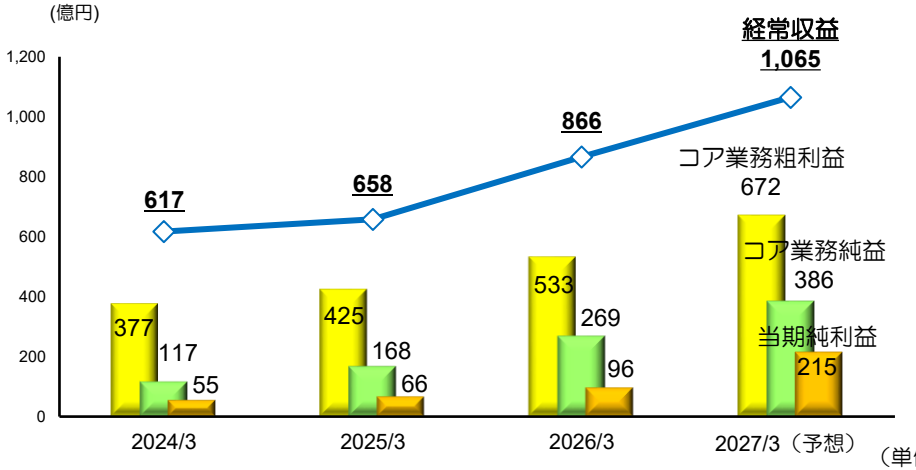
8 2027年3月期　業績予想

（１）連結・単体ともに中計最終年度目標を上回る過去最高益での着地を予想。（子会社配当金を除いても最高益を更新）
（２）将来収益確保を目的とした債券のリバランスにより、国債等債券損益（5勘定尻）は前年並みの水準を見込むが
　　資金利益の改善を主因とするコア業務純益（除く投信解約損益）の増加により増収・増益決算となる見通し。

【単体】（注）［　］内には、子会社からの配当金84億円を除いた数値を記載しております。

（単位：億円）

	2027年3月期予想	2026年3月期実績	増　減
経常収益	1,065 [981]	866	199 [115]
コア業務粗利益	672 [588]	533	139 [55]
資金利益	632 [548]	502	130 [46]
役務取引等利益	83	82	1
その他業務利益(除く５勘定尻)	▲ 43	▲ 51	8
経費(除く臨時費用処理分)	286	264	22
コア業務純益	386 [302]	269	117 [33]
除く投信解約損益	337 [253]	201	136 [52]
業務純益	148 [64]	23	125 [41]
国債等債券損益(５勘定尻)	▲ 238	▲ 239	1
株式等損益(３勘定尻)	85	103	▲ 18
与信費用	▲ 12	7	▲ 19
うち一般貸倒引当金繰入額	1	7	▲ 6
うち不良債権処理額	▲ 13	0	▲ 13
経常利益	262 [178]	133	129 [45]
当期純利益	215 [131]	96	119 [35]



（単位：億円）

【連結】	2027年3月期予想	2026年3月期実績	増減
経常収益	1,114	994	120
経常利益	193	147	46
親会社株主に帰属する当期純利益	140	105	35

中計 2024 財務指標		目標値	2027年3月期予想
収益性指標	親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円超	140 億円
	連結ROE ※株主資本ベース	5.0%超	6.8%程度
健全性指標	連結自己資本比率	9.5%程度	9.5%程度
効率性指標	単体OHR	65%程度	43%程度

※業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.